令和７年４月２４日

都内私立中学高等学校
校　　長
国 語 科 教 諭　殿
関 係 教 職 員

一般財団法人東京私立中学高等学校協会
会　　長　近 藤 彰 郎
東京私学教育研究所長　平 方 邦 行
文系教科研究会委員長　畑 澤 正 一
（共催：公益財団法人東京都私学財団）

文系教科研究会（国語）「講演会」のご案内
～「先生」は何を恐れていたのか
―善意と悪意の交錯点・日本とイギリスの交錯点―～

春暖の候、先生方には益々御清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、文系教科研究会（国語）では、早稲田大学教育・総合科学学術院教授の石原千秋先生の御講演を企画いたしました。改めて御紹介するまでもなく、石原先生は夏目漱石をはじめとする近現代文学研究の第一人者であり、また国語教育についての御研究・御著作も多数であることは周知のことと思います。
今般は、近年の御研究に即しながら、新学習指導要領における文学教材の位置づけや取り扱い方、また文学教育の今後について、石原先生の御見解を伺いたいと存じます。
校務御多用とは存じますが、多くの先生方の御参加をお待ちしております。

記

１．日　　時　令和７年６月１９日（木）１８：００～２０：００（受付１７:３０～）

２．会　　場　アルカディア市ヶ谷（私学会館）会議室（千代田区九段北 4-2-25）
※ 裏面案内図をご参照ください。

３．内　　容　漱石の後期三部作（『彼岸過迄』『行人』『こころ』）の男性知識人たちは何かを恐れている。定番教材である『こころ』に焦点化しつつ、「野心」と「悪意」をもって読むことで、文化の交差点だった彼らの感性の現代的意義を浮かび上がらせる試み。

４．講　　師　**石原 千秋 先生　早稲田大学　教育･総合科学学術院　教授**

【講師プロフィール】

1955 年生まれ。早稲田大学教育･総合科学学術院教授。専攻は日本近代文学。夏目漱石から村上春樹までテクスト分析による読解を続けつつ、国語教育への問題提起も行っている。著書に『漱石入門』（河出文庫）、『読者はどこにいるのか　読者論入門』（河出文庫）、『漱石と日本の近代』（上下・新潮選書）、『教科書の中の夏目漱石』（大修館書店）など。

5．定　　員　　１２０名（申し込み順　⇒定員になり次第締め切ります）

6．参 加 費　　無　料（当協会会員各校の拠出金と（公財）東京都私学財団からの補助金で運営しております）

7．申込方法　　６月９日（月）までに東京私学教育研究所ＨＰよりお申込みください。

URL　https://k.tokyoshigaku.com

8．委員名（支部・学校名）

委員長　畑澤　正一（⑦大 森 学 園）
委　員　宇野　幸弘（③晃 華 学 園）　山田寛治郎（⑦香蘭女学校）
駒ヶ嶺泰暁（⑨中央大学杉並）　沖　奈保子（⑫ドルトン東京学園）

東京私学教育研究所　文系教科研究会（国語）
担当：松田・山本
TEL 03-3263-0544

【案内図】

■交通のご案内

地下鉄　有楽町線・南北線
市ヶ谷駅（1またはA1）出口

地下鉄　新宿線
市ヶ谷駅（A4またはA1）出口

JR中央線(各駅停車)　市ヶ谷駅

上記改札・出口から徒歩約2分

天候の悪化や各種災害、それに伴う公共交通機関の対応などにより、実施方法（オンライン研修を含む）プログラムの変更や中止（延期）となる場合があります。その際には web 申込時にご入力いただいたメールアドレスへ迅速にご案内させていただきます。

ご案内　下記の研修会も現在、参加受付中です。
詳しくは研究所ホームページをご確認ください。

研究会・研修会	テーマ・内容	日　時	会　場
研究協力学校「発表会」（桐朋女子中・高）	過程に寄り添う T-Project の学びを通して生徒が身につける力	5/17(土) 14:00～16:30	桐朋女子中・高等学校